ペイオフ凍結解除後の公金預貯金の動向

1　はじめに

2002年11月末から徐々に低下した農協貯金の前年比伸び率は，03年に入ると緩やかに上昇し，03年３月末は1.2％となっている。03年１月末以降の伸び率上昇には，一般貯金（貯金全体から公金貯金，金融機関貯金を差し引いたもの）の増加幅が拡大したことに加えて，公金貯金の減少幅がやや縮小したことが影響している。

以下では，農協の公金貯金の動向について(注)，他業態との比較ならびに地方公共団体のなかでも財政規模が大きい東京都の公金管理の状況をとおしてみることにしたい。

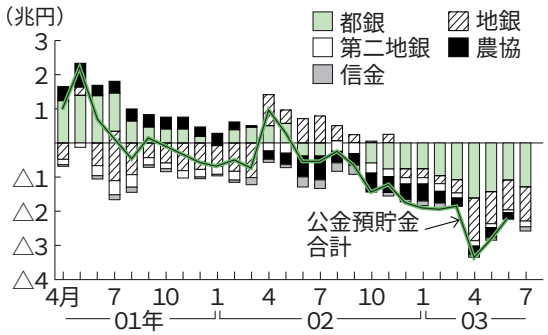
（注）ペイオフ前後の公金預貯金の動向については本誌02年４月号拙稿「公金預貯金の動向」，02年10月号拙稿「最近の公金預貯金の動向」に詳しい。

2　業態別公金預貯金の動向

業態別に公金預貯金の動向をみると，02年４月の定期性預貯金に対するペイオフ凍結解除前までは，都銀，農協が前年比増加で推移してきたのに対して，地銀，第二地銀，信金は減少傾向にあった（第１図）。

ペイオフを控えて多くの地方公共団体は，公金の安全性を確保するために，定期性から流動性預貯金への預け替えや，金融機関の経営状況に応じた選別等の対策を実施した。こうした対策の影響を受けて，農協は02年３月末に前年比減少に転じている。また，第二地銀，信金は引き続き減少傾向が続いた。一方，指定金融機関の多い

第１図　業態別公金預貯金の前年比増減額



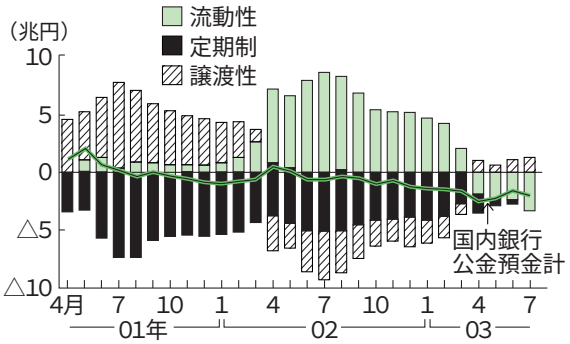
資料　「農協残高試算表」,日銀ホームページ
（注）１　農協は末残,それ以外は平残。農協データは03年6月末まで
２　公金預貯金には譲渡性預貯金を含む。
３　合計は都銀,地銀,第二地銀,農協,信金の単純合計。

都銀，地銀は他業態からの預け替えによる資金流入があったものとみられ，02年度上期にかけて前年比増加で推移した。しかし02年度下期になると，都銀，地銀ともに減少に転じている。農協については03年に入るとやや減少幅は縮小したが，その後も減少で推移している。

全体の公金預貯金額は01年度下期以降減少傾向にあり，02年４，５月にいったんは増加したが，その後減少幅は拡大している。地方公共団体の税収の落ち込み等により公金預貯金全体が減少していることが，農協にも影響しているものと考えられる。

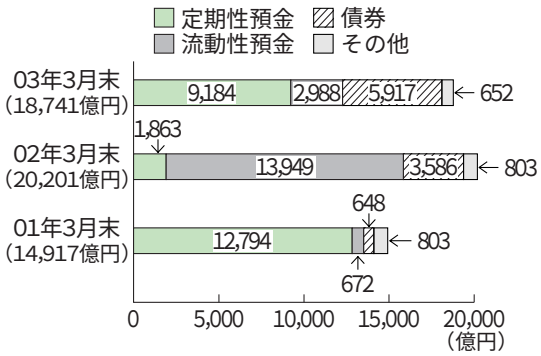
都銀等の国内銀行における公金預金の種類別動向をみると（第２図），01年度は定期性預金が減少し，譲渡性預金が増加したが，02年度に入ると定期性，譲渡性預金から流動性預金へのシフトがみられた。この

第2図　国内銀行における公金預金の前年比増減額



資料　日銀ホームページ

第3図　東京都における公金の種類別残高



資料　東京都出納長室ホームページ
（注）1　預金,債券ともに歳計現金,基金の合計の残高。
　　なお定期性預金には譲渡性預金を含む。
　　2　（　）内は合計残高。

結果，公金預金全体に占める流動性預金比率は，01年３月の23.5％から02年３月の38.3％，03年３月の53.6％へと上昇している。しかし，03年４月以降は流動性預金が減少に転じ，またこれまで大きく減少してきた定期性預金の減少幅は縮小しており，ペイオフの影響による定期性から流動性預金へのシフトはほぼ収まったものとみられる。

3　東京都の公金管理の状況

次に地方公共団体の公金管理の状況について，東京都を例にみることにする。東京都は，02年３月にペイオフへの対応方針を定め，預入先金融機関の独自の選別基準や具体的な資金の配分基準等を作成し，それに基づいた公金管理を02年度より実施している。

公金の種類別動向をみると（第３図），ペイオフを控えて01年度中は定期性預金から流動性預金や債券へのシフトがなされた。しかし，03年３月末には定期性預金，債券の残高が増加し，流動性預金は前年より大幅に減少している。東京都ではいったん流動性預金へ預け替えたが，その後は独自の運用方針に基づき，定期性預金や債券での運用をおこなっている。

4　まとめ

公金預貯金全体は長期不況の影響による税収の落ち込み等により減少しており，農協の公金貯金が今後すぐに増勢に転じることは難しいものと思われる。また普通預貯金等へのペイオフが実施される05年４月以降も決済用預貯金は全額保護されるようになったために，当面は流動性貯金に積み上がった状況が続くものと考えられる。

しかし，東京都のように流動性預金から定期性預金への再シフトや債券購入の動きもでてきている。農協を指定金融機関としている市町村のなかにも同様の動きがでてくれば，流動性貯金に積み上がった資金が徐々に動き出す可能性もあり，今後の動向に注意が必要であろう。

（研究員　長谷川晃生・はせがわこうせい）